一般質問

# 地域医療計画は策定したか

村川四郎　議員

**質問**　佐渡市の地域医療と医療ネットワーク計画策定への次の所見を問う。

・地域中核病院計画と島内各病院間の機能分担と病診連携計画。

・佐渡市の理想的地域医療計画はどうあるべきか。

・佐渡の医師充足率と今後の医師確保計画。

**市長**　両津と佐渡病院がへき地医療拠点病院で、他の病院、診療所との連携は出来ているが、より密接な連携のため地域医療計画の策定中である。現状の医師充足率は不十分で医師確保は緊急の課題であり、対策を進めている。

**医療課長**　中長期的な医師確保対策は、県の医師就学資金対応制度に参画。短期的には県が新年度から、支援事業を設立するので、市も参画する。

佐渡総合病院

**質問**　佐渡の医療水準では、疾病の早期発見、早期治療が病気の予後と医療費の増大防止から必要不可欠であり、健康診断の充実が重要だ。基本検診、乳癌のマンモグラフィー、前立腺癌のPSA診断の受診率向上への対策と集団検診時の女性への配慮が不十分で改善を求める。

**市長**　受診申込書を、全世帯に配布し、受診率向上へ結びつける。女性検診者へは十分配慮するよう注意する。

## 人事の適材適所について

**質問**　市は、7万人自治に求められる能力を持つ人材の発掘と配置が急務であり、人事の適材適所へ次の4点への考えを問う。

・能力主義・自己申告制度・業績考課制度の採用。

・管理職に自己評価と成果主義を適用。

・「一般職任期付職員制度」の導入。

・支所の地域特性を生かす組織と人事を行うべき。

**市長**　能力主義・業績考課制度・人事交流や勧奨退職制度も含め検討する。管理職は自己評価に合わせた成果で評点を付け、レベルアップと競争が必要である。民間からの一般職任期付職員等の新しい血の導入も、人材の活性化に必要と考え真剣に検討している。

**総務課長**　世界遺産推進室は相川支所、海洋深層水は畑野支所、トキ放鳥推進室は新穂支所とし、他の支所もそれぞれの枠内で特徴を持たせた。

## トキ放鳥計画から見える疑問点

**質問**　トキ放鳥事業が現場の議論、住民意識の盛り上がりが不十分で国家プロジェクトの名の下に、上滑り行動で進行し放鳥計画に焦りが見える。

この事業には、絶滅危惧動植物の保護や営巣林を想定した植林計画も必要だ。

**市長**　確かに盛り上がり不足の感はあるが、新年度に新設する新穂の「トキ放鳥推進室」に期待したい。営巣林作りや杉花粉対策の混成林育成の植林も検討する。

**環境保健課長**

県の絶滅危惧種として佐渡では、サドノウサギ・サドモグラ等が登録されている。環境基本条例の中にも絶滅危惧種等の保護を明記した。